

**みなみっ子集会にて**

11月21日の3, 4校時、みなみっ子集会を開きました。集会では、人権学習で学んだことを各学年が発表しました。ねらいは、それぞれの学びを南小全員で共有し、南小の児童の絆を深め、いじめやつらい思いをする人をなくしていこうとするものです。

1年生は、自分の気持ちを伝えることの大切さ。2年生は、暮らしを支えるおうちの人の仕事を調べて感じたこと。3年生は、住んでいるところで差別することのおかしさから学んだこと。4年生は、おかしいと思うことに立ち向かうこと。5年生は、水俣病問題から考えた自分のこと。6年生は、本物のリーダーとは・・・、平和学習から学んだことを発表しました。

どの学年もとてもよい発表ができました。また、発表に対してのお返しもしっかりしていて、1年生の発表に対して6年生が学んだことを素直に発表するなど、とてもよい雰囲気でした。



発表の後にはたくさんのお返しがありました

南小ならではの「コマ」です。人権学習の目標として、「豊かな人権感覚を育てる」があります。友だちや周りの人の思いを、自分のこととして受け入れ、自分も他の人も大切な存在であることを理解していきます。

1年生が、自分のことをわかって欲しくて気持ちを手紙に書いて伝え、そのお返しをもらうという挑戦を発表しました。集会の中でも、みんながどうお返しをしてくれるのか心配していましたが、自分のことを理解してくれ、今まで以上に仲良く過ごすことができました。子どもたちにとって、この発表がとても刺激になったようです。今後も南小みんなで頑張ります。



2年生おうちの人の人から学んだことを発表

**第10回鼻ぐり井手祭  
児童が活躍しました**

11月18日(日)に第10回鼻ぐり井手祭が行われました。このお祭りの中で、これまで学んだことを子どもたちが発表しました。

開会行事の後、馬場楠の獅子舞に、6年生の川端桜空さんをはじめ、南小の5人の児童が参加しました。11月に入って週3回午後8時から行われていた練習に毎回参加していただけあって、優雅な舞を披露しました。

3, 4年生は、音楽劇「後の世のために」を上演しました。町の音楽会で公演し、自信をつけていましたが、いつもと勝手が違って外のステージでの発表となり戸惑いもあったかもしれませんが、大勢の観衆に向け堂々と演技をし、演奏することができました。

5, 6年生は、「よさこいソーラン」に挑戦しました。菊陽学園から踊りと大漁旗の応援をいただきながらの踊りでした。披露するのは運動会以来となりましたが、踊りのキレはそれ以上で、最後の決めのポーズでは、元気な笑顔でアピールしていました。

この後は、ボランティアガイドの準備と平行して、手際よく5年生は共同募金、6年生はお芋と自作のリースの販売に取りかかっていました。

いよいよ、11時25分から3, 4年生はボランティアガイドのはじまりです。3年生は初めてのガイドなのでドキドキでしたが、来場者に向け一生懸命ガイドを頑張っていました。

12時半には、5, 6年生もガイドを終えました。6年生は、これが最後のガイドになるのでちょっと寂しそうな様子もありましたが、地域の方に支えられ、地域を学び、自分たちのふるさとに誇りを持つことができたことでしょう。一生の宝物にして欲しいと思います。

地域の皆様にも、たくさん支えていただき、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



目標を上回る募金に感謝です



親子での共演もありました



劇の最後の合奏・合唱



菊陽ソーランを笑顔で頑張りました



一生懸命ガイドしました



売り上げは卒業記念品代に

**まつぼり風の夢**